

平成29年度 滋賀建設会総会 会長 挨拶 (H29.7.21)

滋賀建設会の会長をさせていただきます

昭和53年卒の堀井信幸です。

本日は、立命館大学建設会から桑山会長様をはじめとして、大阪の建立会、建設会京都各支部の役員の皆様に御臨席いただきありがとうございます。

また、大学からは、市木先生、塩見先生に御臨席いただき、改めて御礼申し上げます。ありがとうございます。

さて、私は、昭和53年に立命館大学理工学部土木工学科を卒業しまして、大津市役所に入りました。

平成28年3月に定年退職しましたが、引き続き、大津市瀬田支所勤務をさせていただきます。

では、ここで、平成28年にお亡くなりになった方々を報告させていただきます。

昭和24年卒 坂下 正治 様、昭和26年卒 林 幸三郎 様、

昭和28年卒 馬場 正博 様、昭和33年卒 大滝 敏夫 様、

昭和36年卒 山際 欣次 様、昭和53年卒の私と同期の平松 善

勝 様 以上でございます。6名の方々のご冥福をお祈りします。

さて、今年も滋賀建設会の総会を開催させていただきましたところ、ご多用の中、多数ご参加いただきありがとうございます。

この滋賀建設会は、立命館大学を卒業された、会員の皆様に年代を越えて、親睦を図っていただくとともに、有意義な情報交換、意見交換をしていただく場として、この総会をはじめとして、研修会などを企画していきたいと考えております。

然るに、昨今の土木界をとりまく環境は、相変わらずきびしいものがあります。

土木構造物の老朽化が進み橋梁やトンネルなどの構造物の老朽化対策として、長寿命化が求められ、建設から維持管理の適正化が、必要となり、今後益々、建設から維持管理にシフトしていくものと考えられます。

このような、状況下、滋賀建設会の各事業で、会員の意見交換の場として利用していただければと考えます。

最後になりますが、今後とも、総会に多数ご参加いただきますようお願いしまして、開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。